

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス UNISMILE		公表日		2026年 5月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・パソコンで遊ぶスペースと療育のスペースを分けて確保出来ている。 ・それぞれが、活動できるスペースは保たれている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	1	・男性・女性職員ともに充実出来ている。 ・配置数は適してはいるが、死角になっていることがある。	・活動運営や支援の質をさらに安定させるための人材育成、確保に努める	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・玄関スペースに少しの段差があるが、利用者さんが転倒することがない。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・毎日営業後に清掃し、翌日も心地よく過ごせる環境になっている。 ・必ず掃除する。時間のない時は翌日に掃除をしている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		・個別で対応出来るよう別室があり、使用する際は職員を2名配置している。 ・完全な個室ではないが学年などによって、別室を使用している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・定期的に職員内で振り返りを行い、室内での過ごし方や療育について目標を決めた。 ・プログラムの目標設定や改善・振り返りを行っている		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	2	・今回初めての評価表実施を行っている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・職員会議を設け、全体での周知。 ・プログラムの意見を出すようにしている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	3	・未実施。	・第3者委員会設置の検討	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	1	・地域の研修や虐待研修への参加を実施した。 ・強度行動障害支援者研修を受講し、資格を取得しました。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・支援プログラムは、HPに掲載。 ・連絡帳にて活動内容を公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・放課後等デイサービスのガイドラインを踏まえ、ケアマネジメント等を活用しながら実施している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・日々の様子を踏まえた上で作成した。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・計画に沿った内容から活動や余暇の過ごし方を職員全体で考えた。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・個別支援計画の作成に際し、こどもの状況に応じた支援方法を検討している。 ・こどもの状況に応じ、活動や支援の内容を調整している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・個別支援計画の作成に際し、ガイドラインとの照合をおこない、必要な設定がなされていることを確認している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		・1人の意見ではなく、職員内で取り組む内容を取り決めプログラムを立案した。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・5領域に沿った内容で、子どもたちの状況を踏まえて活動の幅を広げた。</li> <li>・その時々よって、臨機応変に対応。</li> <li>・制作や体を動かす活動を企画した。</li> </ul>	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日に登所する子どもを把握し、注意する点や支援内容を考えた。</li> <li>・送迎時間の共有・プログラム内容の共有を行っている。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援終了後ではないが、翌日に振り返りを行った。</li> <li>・プログラム改善点やアドバイスを貰っている</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・支援開始前にミーティングを行い振り返りや改善点について話し合う場を設けている</li> </ul>	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行っている</li> </ul>	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドラインに基づいて、作成している</li> </ul>	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・登所してからの流れを作り、その中で子どもたちがどう過ごすかを支援員と考え決定するようにした。</li> </ul>	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの状況をよく理解した者が参画できるよう、各種会議を踏まえたシフト調整を行っている。</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や相談支援事業所等と連携しながら支援を進めている。</li> </ul>	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・送迎等を活用しながら、学校との情報共有を図っている。</li> </ul>	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アセスメントや相談員からの情報共有。</li> </ul>	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は卒業し障害福祉サービス事業所等へ移行される子どもはいなかった。</li> <li>・移行する予定の利用者さんがいなかった。</li> </ul>	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設けていない。</li> </ul>	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	1	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後は他施設や地域との交流、活動をする機会を設けられると考える。</li> </ul>	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加できる場合は、参加するようにしている。</li> </ul>	
	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの送迎時のやり取りや面談等を通じて、情報の共有や理解の統一を図っている。</li> </ul>	
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族参加の交流会を、まだ行っていない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者のニーズに応じて、今後研修や交流の機会を設けていく。</li> </ul>	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすい説明を心掛けている。</li> </ul>	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日々のやり取りや面談等で、ヒアリングを実施している。</li> </ul>	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・左記の通り実施している。</li> </ul>	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・必要に応じて、面談等を実施している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2	・実施していない	・ 今後は保護者のニーズを反映させた運営を行っていく
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・ 苦情解決体制を構築し、契約の際に保護者へ周知している。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・ InstagramやXを使って日々の様子を発信した。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・ 研修等を実施し、全職員が順守出来ている	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・ 本人および保護者に対し、あらかじめ配慮事項の聞き取りをおこなっている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4	・ 地域の商店利用等、地域と接点を生じるプログラムを盛り込んでいる。	・ 今後、地域の方の理解と協力を得るために情報発信を行っていく
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・ 各マニュアルを作成し、HPに掲載している。 ・ 避難訓練を実施し、避難場所まで行き確認した。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・ BCPを作成し、HPに掲載している。 ・ 年間計画に避難訓練実施計画を策定し、実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・ 保護者に確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・ 契約の際に保護者に確認を行っている。 ・ クッキングの活動時は、アレルギーなど確認している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・ 定められた安全計画に基づき、支援を提供。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5		・ 契約の際に説明を行い、HPに掲載していることを周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・ ミーティングの際に職員でヒヤリハットの内容を確認し、対応について協議を行っている	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	・ 定期的に研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・ 現在、身体拘束を行う想定放課後等デイサービス計画はない。		